



県立西原高等学校

いじめ防止基本方針

～いじめのない居心地の良い学校づくりにむけて～



県立西原高等学校
令和2年6月1日

いじめ防止基本方針

I いじめの定義及びいじめについての考え方

1 いじめの定義

○いじめ防止対策推進法（平成25年法律第71号）

第2条 この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等、当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

2 いじめの認知と対応についての考え方

- ① 個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的にすることなく、いじめられた生徒の立場に立って行う。
- ② いじめであるか否かの判断にあたっては、当該生徒の表情や様子の細かな観察、行為が起こったときのいじめられた生徒本人や周辺の状況等の客観的な確認を踏まえ、慎重に進める必要がある。
- ③ インターネット上で悪口を書かれた生徒がいたが当該生徒がそのことを知らずにいるような場合など、行為の対象となる生徒本人が心身の苦痛を感じるに至っていないケースについても、加害行為を行った生徒に対する指導については法の趣旨を踏まえ適切に対応するものとする。
- ④ いじめられた生徒の立場に立って「いじめに当たる」と判断した場合にも、その全てが厳しい指導を要する場合であるとは限らないことに留意する。
- ⑤ いじめとはいえないと判断されるケースにおいても、「心身の苦痛を感じている」生徒がいる場合には、教育相談の観点で当該生徒に対応するよう努める。
- ⑥ 具体的ないじめの態様とその対応については、いじめ等の行為が起きた背景について詳細を明らかにした上で、関係生徒に対するそれまでの指導経緯等も考慮に入れて適切に対応する。その解決に当たっては、学校のみで抱えることなく、警察等の外部関係諸機関へ通報・相談することができる。その目安等については別資料に例示する。

II 校内における委員会（組織）

○いじめ防止対策推進法（平成25年法律第71号）

第22条 学校は、当該学校におけるいじめの防止等に関する措置を実効的に行うため、当該学校の複数の教職員、心理、福祉等に関する専門的な知識を有する者その他の関係者により構成されるいじめの防止等の対策のための組織を置くものとする。

1 組織

(1) 名称

「いじめ防止対策委員会」

(2) 構成員（非常任は※印）

校長、教頭、事務長、教育相談係、養護教諭、生徒指導主任
学年主任、関係HR担任及び部活動顧問等

※（臨時招集の場合）スクールカウンセラー、学校三師、保護者代表

※外部委員として行政等の関係機関

2 役割

- (1) いじめ防止基本方針の策定と見直し
- (2) いじめ未然防止に向けた取組方法の立案及び対応
- (3) いじめの早期解決に向けた取組方法の立案及び対応
- (4) その他いじめ防止及び早期解決に関する内容の検討
- (5) アンケートの作成及び実施

- ① 「いじめ防止対策委員会」は、いじめ等に関する深刻な事案が発生し、外部関係機関との連携及び対応等が必要となった場合において臨時に招集することができる。
- ② 「いじめ防止対策委員会」は、校長を委員長とし、委員会として構成する。
- ③ 「いじめ防止対策委員会」は、重大事態が発生した場合は、県教育委員会に報告し、関係機関と連携して事案への対応や再発防止を図る。

年間計画

4月	・発足会議にて「いじめ防止対策基本方針」に関する資料配布 ・「心の安全チェック」（いじめに関するアンケート実施）
5月	・いじめに関するアンケートに基づいて、職員相互の連携、生徒実態把握 ・「学校生活を有意義に過ごすためのアンケート」（いじめに関するアンケート実施） ・いじめ防止対策委員会
7月	・「学校生活を有意義に過ごすためのアンケート」結果考察 LHR 実施 ・安全講話（インターネットの使用に関する講話） ・学校評議員会（状況説明と意見交換）・「心の安全チェック」

9月	・「心の安全チェック」(いじめに関するアンケート実施)
10月	・いじめに関するアンケートに基づいて、職員相互の連携、生徒実態把握
11月	・拡大学年会(情報の共有)・「心の安全チェック」
12月	・人権講話
1月	・「心の安全チェック」(いじめに関するアンケート実施)
3月	・学校評議員会(一年間の状況説明と意見交換)

Ⅲ いじめ未然防止対策

1 学校全体で取り組む「いじめを許さない雰囲気」の醸成

① 授業の充実

(分かる授業・魅力ある授業を追求し、学力不安の解消を目指し、ストレスの軽減を図る)

② HR 活動の充実

(基本的生活習慣の確立・支持的風土の醸成・居心地の良い学級作り・教師と生徒との信頼関係の構築)

③ 規範意識の醸成と他者理解・共感性の育成

(「決まりを守る心」「自分を律する心」を育てると同時に、他者を理解し共感する力を育み居心地のよい学習環境作りに努める)

④ 情報モラル教育の充実 (ネットの活用モラル等の高揚を図る)

⑤ 人権意識の高揚

(いじめは人権侵害であるという意識を高める)

⑥ 部活動の活性化

(集団行動における協調性やチームワークを学ぶ)

⑦ 教師のいじめを誘発する態度や言動、体罰禁止の徹底

(教師は人権意識の更なる高揚に努め、生徒の範となる。)

2 学校行事等の課外活動を通じた「いじめ防止」の意識高揚

① 歓迎球技大会、宿泊学習、遠足、体育祭、学園祭、修学旅行等で集団への帰属意識を高め、集団におけるマナーや振る舞いについて学ぶ。

② 生徒総会、校内弁論大会等で自身の意見を発信する態度、話を聴く態度を学ぶ。

- ③ 交通安全講話、薬物乱用防止講話等において命の大切さを学ぶ。
- ④ エイズ講話、人権講話等において人権意識と多様な価値観を認める寛容さを学ぶ。
- ⑤ 講話等においてインターネットの活用マナーについて学び、ネット利用モラルを高める。
- ⑥ 部活動の活性化を図り、集団への帰属意識、自他の個性の尊重、助け合いの精神、奉仕の精神等を高める。

IV いじめ等の早期発見

1 各種アンケートによる実態把握

- ① 学校で定期的に行うアンケート及び実態調査等
 - QUアンケート
 - 学校評価生徒アンケート
 - 学期に1回程度の定期的なアンケート
- ② 教育委員会等で行うアンケート及び実態調査等
 - 携帯電話等の情報通信端末の利用に係る実態調査
 - 生活実態調査
- ③ 臨時的に行うアンケートもしくは実態調査等
 - いじめ、盗難等が発生し、状況把握が必要な場合に行う臨時アンケート等

2 日常における教職員の生徒観察

- ① 担任、教科担任、部活動顧問のそれぞれの視点で生徒を観察する。
- ② 日々の生徒観察から、生徒の変化に気づくよう心がける。
- ③ 変化に気づいたら、一言「声をかける」ことを心がける。
- ④ 気づいた変化を職員間で共有し継続的な見守りを行う。必要に応じて介入し、教育相談につなげることができるようにする。

3 保護者・関係機関との連携

- ① いじめ防止・解決に向けて、保護者、関係機関と連携する。
- ② 保護者に対して「いじめのない学校づくり」への協働を呼びかける。また、学校に

おける相談体制を広く周知する。

- ③ P T A総会、三者面談、学級懇談会、学校ホームページ等で家庭における「いじめ早期発見チェックリスト」の活用等呼びかける。
- ④ 警察や弁護士会等の関係機関との日頃からの関係づくりをすすめ、必要に応じて連絡・相談する。

V いじめ等への迅速対応

1 被害者のケア

- ①教育相談担当を中心に、生徒が相談しやすい雰囲気づくりを心がける。
- ②気になる生徒の教育相談担当への「つなぎ支援」を充実させる。
- ③当該保護者との連携及び協力をはかる。

2 加害者の特定及び指導

- ①生徒指導主任及び関係教師は、関係生徒から事情を聞く。
- ②「いじめは絶対許されない」という毅然とした態度で接する。
- ③加害者の行為、言動がいじめに当たること、いじめ被害者の感情について深く考えさせながら、自らの非に気づけるようにすることを目標として指導する。
- ④暴力を伴ったいじめにおいては、加害者に対して、暴力行為に係る校内指導規定に従い、指導することができる。
- ⑤暴力を伴わないいじめにおいても、被害者の状況を考慮の上、適切に指導を行うものとする。

VI いじめの再発防止対策

1 外部関係機関との連携・相談

- ① 地域の交番や警察署と、連絡や相談がしやすい関係づくりをすすめる。
- ② 地域における生徒の様子が聞けるよう、地域の自治会等と連携する。

連携機関

- ・ 那覇地方法務局 (代表) 098-854-7950
- ・ 沖縄中央児童相談所 098-886-2900
- ・ 沖縄県立総合教育センター (教育相談ダイヤル) 098-933-7537

相談窓口

- ・ 24時間子供 SOS ダイヤル 0570-0-78310
- ・ 沖縄いのちの電話 098-888-4343
- ・ 警察本部少年課少年サポートセンター 098-862-0111

2 事後の生活実態調査等による再発の有無の確認

- ①被害者の立場に立ち、いじめ等の再発について継続的に見守る体制を整える。
- ②拡大学年会等の情報交換の場において、いじめの被害生徒、加害生徒のその後の動向について情報を共有するよう心がける。
- ③「いじめのない居心地の良い学校」をめざし、生活実態調査や学校評価アンケート、定期アンケート等において実態把握に努める。

いじめの態様と対応の目安

～『いじめは犯罪』です。抱え込まず、外部関係機関と積極的な相談・連携・協働を！～

段 階	態 様	学校の対応
<p>PHASE IV (末期段階)</p> <p>段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 深刻な被害 ・ 被害者に事件化の意志有り 	<p>③身体の危険、命の危険を感じるほどの暴行、脅迫、その他の行為を受ける。 ②執拗な金銭の強要等がある。 ①治療を要するケガを負わされる。</p> <p style="text-align: right;">等</p>	<p>警察へ「通報」</p>
<p>PHASE III (中期・後半期)</p> <p>段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導が困難 	<p>③断れない状況に肉体的・心理的に追い込み、嫌なことを強要される。 ②PHASE IやIIの段階で指導したにもかかわらず、いじめが潜在化し続いていた場合。 ①明らかに「遊び」「ふざけ」「ケンカ」の段階を超え、ケガなどを負わされる。</p> <p style="text-align: right;">等</p>	<p>警察へ「相談・通報」</p>
<p>PHASE II (中期・前半期)</p> <p>段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被害のエスカレート ・ 手口の多様化 	<p>⑥恥ずかしい姿の写真を撮影し、ネットに掲載される。 ⑤「死ね」「ウザイ」などの言葉・書き込みをされる。 ④(軽い)ケガを負わされる。 ③窃盗を強要(万引きの見張り役等も含む)される。 ②被害者が嫌がっている様子、表情が見られる。 ①仲間内で力関係が決まっているかのような状況が周囲からはっきり見える。</p> <p style="text-align: right;">等</p>	<p>校内規程に準じた指導・支援</p>
<p>PHASE I (初期段階)</p> <p>段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 軽微ないじめ 	<p>⑧写真をネットに勝手に掲載される。 ⑦言葉やネット上でのからかいを受ける。 ⑤物をぶつけられる。 ⑥いじられ役になる。 ④物を借りて返さない。 ②軽くぶたれる。 ③ケンカを強要される。 ①プロレスごっこなど嫌な遊びを強要される。</p> <p style="text-align: right;">等</p>	<p>校内規程に準じた指導・支援</p>

教師用「いじめチェックリスト」学校における生徒観察の視点

場面等	観察の視点(変化に気づく)	
S H R	<input type="checkbox"/> 遅刻・欠席が増える <input type="checkbox"/> 表情が暗くうつむきかげん	<input type="checkbox"/> 遅刻寸前の登校が増える <input type="checkbox"/> 出席確認時の返事の声が小さい
授業の開始時	<input type="checkbox"/> 忘れ物が多くなる <input type="checkbox"/> 机・椅子が散乱している <input type="checkbox"/> 一人だけ遅れて教室に入る	<input type="checkbox"/> 涙を流した気配が感じられる <input type="checkbox"/> 周囲がざわついている <input type="checkbox"/> 机が別の位置にある
授 業 中	<input type="checkbox"/> 正しい返答を揶揄される <input type="checkbox"/> 頭痛腹痛を頻繁に訴える <input type="checkbox"/> 文字の筆圧が弱くなる <input type="checkbox"/> 不真面目な態度が目立つ	<input type="checkbox"/> ひどいあだ名で呼ばれる <input type="checkbox"/> グループ・班分けで孤立する <input type="checkbox"/> ぼんやり一人であることが多い <input type="checkbox"/> ふざけて質問をする
休 憩 時	<input type="checkbox"/> わけもなく階段を歩く <input type="checkbox"/> 用もないのに職員室に来る <input type="checkbox"/> 集中してボールを当てられる <input type="checkbox"/> 保健室への来室が増える	<input type="checkbox"/> 一人であることが多い <input type="checkbox"/> 遊びの中に入れない <input type="checkbox"/> トイレに行く回数が多い <input type="checkbox"/> 悪ふざけをすることが多い
昼 食 時	<input type="checkbox"/> 弁当にイタズラされる <input type="checkbox"/> グループから外される	<input type="checkbox"/> 弁当を隠されたり食べられたりする <input type="checkbox"/> 好きなメニューを他人に譲る
清 掃 時	<input type="checkbox"/> 一人が残ることが多い <input type="checkbox"/> 清掃を一人でさせられるなど、嫌がる仕事を押しつけられる	<input type="checkbox"/> 目の前にゴミを捨てられる
放 課 後	<input type="checkbox"/> 服装の汚れ・破損がある <input type="checkbox"/> 急いで一人で帰宅する <input type="checkbox"/> 部活動に参加しなくなる	<input type="checkbox"/> 擦り傷や鼻血のあとがある <input type="checkbox"/> 用もないのに教室に残る <input type="checkbox"/> 他の子の荷物を持っている
動作・表情等	<input type="checkbox"/> おどおどした感じを与える <input type="checkbox"/> 寂しそうな表情をする <input type="checkbox"/> 委員や係等を辞退する <input type="checkbox"/> 乱暴な言葉遣いをする	<input type="checkbox"/> 視線を合わせようとしない <input type="checkbox"/> 独り言をよく言う <input type="checkbox"/> 手イタズラが目立つ <input type="checkbox"/> 反抗的が増える
持 ち 物 服 装 容 儀 等	<input type="checkbox"/> 教科書にイタズラ書きがある <input type="checkbox"/> 靴、体育着等が隠される <input type="checkbox"/> 高価な物を持ってくる	<input type="checkbox"/> 掲示物を破られる <input type="checkbox"/> 急に携帯電話を使わなくなる <input type="checkbox"/> 目立つ服装をしってくる
そ の 他	<input type="checkbox"/> トイレ等に落書きを書かれる <input type="checkbox"/> 小動物に残酷行為をする	<input type="checkbox"/> 提出物が遅れる <input type="checkbox"/> 校則違反、問題行動をする

家庭用「いじめ早期発見チェックリスト」

日頃のお子さんの様子を見て、当てはまる項目に○印を付けて下さい。「○印の数が多くて気になる」「いつまでも好ましくない状態が続いて心配である」などありましたら、**担任**または**教育相談係**に相談して下さい。

番号	項 目	チェック
1	登校をしぶるようになった。	
2	朝、起きるのが遅くなった。	
3	食欲がない、または食事の量が減った。	
4	家族のいる前で携帯電話を使わなくなった。	
5	メール等を見たあと、不機嫌になるようになった。	
6	学校での出来事を話さなくなった。	
7	交友関係が変わったように感じる。	
8	一人で部屋に引きこもり、友人と遊ぶことが少なくなった。	
9	お金を欲しがるようになった。	
10	物をなくしたり、壊したりすることが増えた。	
11	ちょっとした事にも、びくびくするようになった。	
12	自分の部屋にいる時間が増えた。	
13	小さな傷が増えた。	
14	質問されることを嫌がるようになった。	
15	親が知らない人からの電話が増えたように感じる。	
16	過度にツイッター等の SNS の書き込み等を気にする様子がある。	
17	帰宅時刻が遅くなってきた。	
18	言葉遣いが荒くなったり、感情の起伏が激しくなったりする。	
19	買い与えていない物を持つようになった。	
20	金遣いが荒くなった。	

■学校の電話番号 : 098 (945) 5418

■学校の F A X 番号 : 098 (946) 0339